

平成26年（'14）6/25

第76号

火事と救急は

局番なし119番

消防だより

発行

吹田市防火連合会

吹田市江坂町1丁目21-6

吹田市消防本部内

電話 (06) 6193-0119 (代表)

平成26年度全国統一防火標語

『もういいかい 火を消すまでは まあだだよ』



吹田市建設業防火協会 創立50周年記念式典

火災のない明るい吹田市を築きましょう

消防長就任ごあいさつ



吹田市消防本部
消防長 村上 博之

4月1日付けで吹田市消防長を拝受しました村上です。

この度、松中消防長の後を受け、第15代消防長を拝命いたしましたことは、伝統ある組織を担う重責を痛感いたしますと共に大変、身の引き締まる思いでございます。もとより微力の身ではございますが、吹田市消防本部のこれまでの輝かしい歴史に恥じないよう専心精励してまいり所存でございます。皆様におかれましては、前任者同様、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

さて、火災や事故は、いつ、どこで、どの様な形で発生するか予測が困難です。ここ最近に起こった全国での火災・事故を振り返ってみますと広島県福山市のホテル火災や長崎市のグループホーム火災、京都府福知山市の花火大会での事故などがありました。これらの火災や事故は、社会に与える影響も大きく消防法や条例の改正によって二度と類似の災害が起きないように対策はとられていますが、本市におきましてこうした災害に備えるためにより一層、積極的にまた広範にわたり、消防行政の展開を図ってまいります。

このような考えの中、吹田市・摂津市消防指令センターによる消防・救急デジタル無線化及び消防通信指令業務共同運用が平成28年度（2016年度）の運用開始に向けて本格的に始動いたしました。近接する摂津市との消防指令業務の共同運用により消防指令センターを有効に活用し、火災、救急、救助をはじめ多種多様化する消防需要に対して、広域的に対応し高度な消防サービスを推進していく所存であり、さらには市民の皆様が危惧されている南海トラフを震源とする大地震の切迫性等が繰り返し指摘されている状況下、我々、消防の持てる能力を十分に発揮するため、通信手段の確保と長時間に及ぶ消防活動を支える拠点として地域に信頼される消防防災の担い手として努力してまいります。

結びに、市民の皆様方の負託に応えるべく、消防職員及び消防団員が一致団結して職務に邁進することをお誓い申し上げまして新任のご挨拶といたします。

消防本部人事異動（課長級以上）

（平成26年4月1日現在）

新 職 名	氏 名	旧 職 名
消防長	村上博之	次長（総務予防室長兼務）
消防管理監	宮田博史	西消防署長
次長（総務予防室長兼務）	前田 優	予防課長
警防救急室長 （警防救急室救急課長事務取扱）	村上和則	東消防署長
指令情報室長	高橋俊之	消防本部総括参事 （警防救急室救急課長事務取扱）
東消防署長	中川正人	警防救急室長
西消防署長	徳永成三郎	東消防署第2副署長
南消防署長	下川健次	指令情報室 指令情報第1課長
予防課長	川邊寿一	総務予防室参事
救助課救助第1司令長	吉瀬和夫	南消防署第1副署長
救助課救助第2司令長	液野正敏	警防救急室参事 （安全運転指導担当）
指令情報室指令情報 第1課長	山根昭司	指令情報室参事 （指令情報第1司令事務取扱）
指令情報室参事 （指令情報第1司令事務取扱）	人見 彰	北消防署救急第2司令
指令情報室参事 （指令情報第2司令事務取扱）	山口 勇	南消防署救急第2司令
南消防署副署長	出原 宏	南消防署警防第1司令
南消防署 警防第1司令長	河野健二	指令情報室参事 （指令情報第2司令事務取扱）
南消防署 警防第2司令長	松田旨功	指令情報室 指揮調査第2司令
北消防署副署長	廣瀬栄二	西消防署第2副署長
北消防署 警防第1司令長	徳永隆志	救助課救助第1司令長
北消防署 警防第2司令長	瀬戸伸浩	北消防署第2副署長
西消防署副署長	内田春夫	西消防署第1副署長
西消防署 警防第1司令長	中西康太	南消防署第2副署長
西消防署 警防第2司令長	前部晴奈	救急課課長代理
東消防署副署長	前田昌史	東消防署第1副署長
東消防署 警防第1司令長	西尾敬三	北消防署第1副署長
東消防署 警防第2司令長	岩熊健三	救助課救助第2司令長

◆協会だより◆

吹田市防火連合会

6月26日(木) 総会(千里柏屋)

吹田市建設業防火協会

4月16日(水) 幹事会(消防本部)

6月2日(月) 総会・創立50周年記念式典
(吹田市文化会館)

吹田市公衆集合場防火協会

4月18日(金) 役員会(消防本部)

6月9日(月) 総会(サニーストンホテル)

吹田市工場危険物防火協会

4月17日(木) 役員会(消防本部)

6月4日(水) 総会(東急イン)

吹田市家庭防火クラブ連絡協議会

5月9日(金) 総会(消防本部)

防火さつき会

4月22日(火) 総会(消防本部)

◆防災ずきん作り◆



作成の様子



完成した防災ずきん

3月7日(金) 吹田市小路町家庭防火クラブは、西山照子会長を中心に簡易防災ずきん作りを実施しました。

身近にある使わなくなったバスタオルやキルティング布を材料にして手際よく作成されていました。

関西では、あまり馴染みのない防災ずきんですが、まずは地域で普及させるために会員の皆さんは熱心に取り組んでおられました。

◆神崎川畔さくら祭り◆



4月5日(土) 第10回神崎川畔 さくらまつりが開催されました。

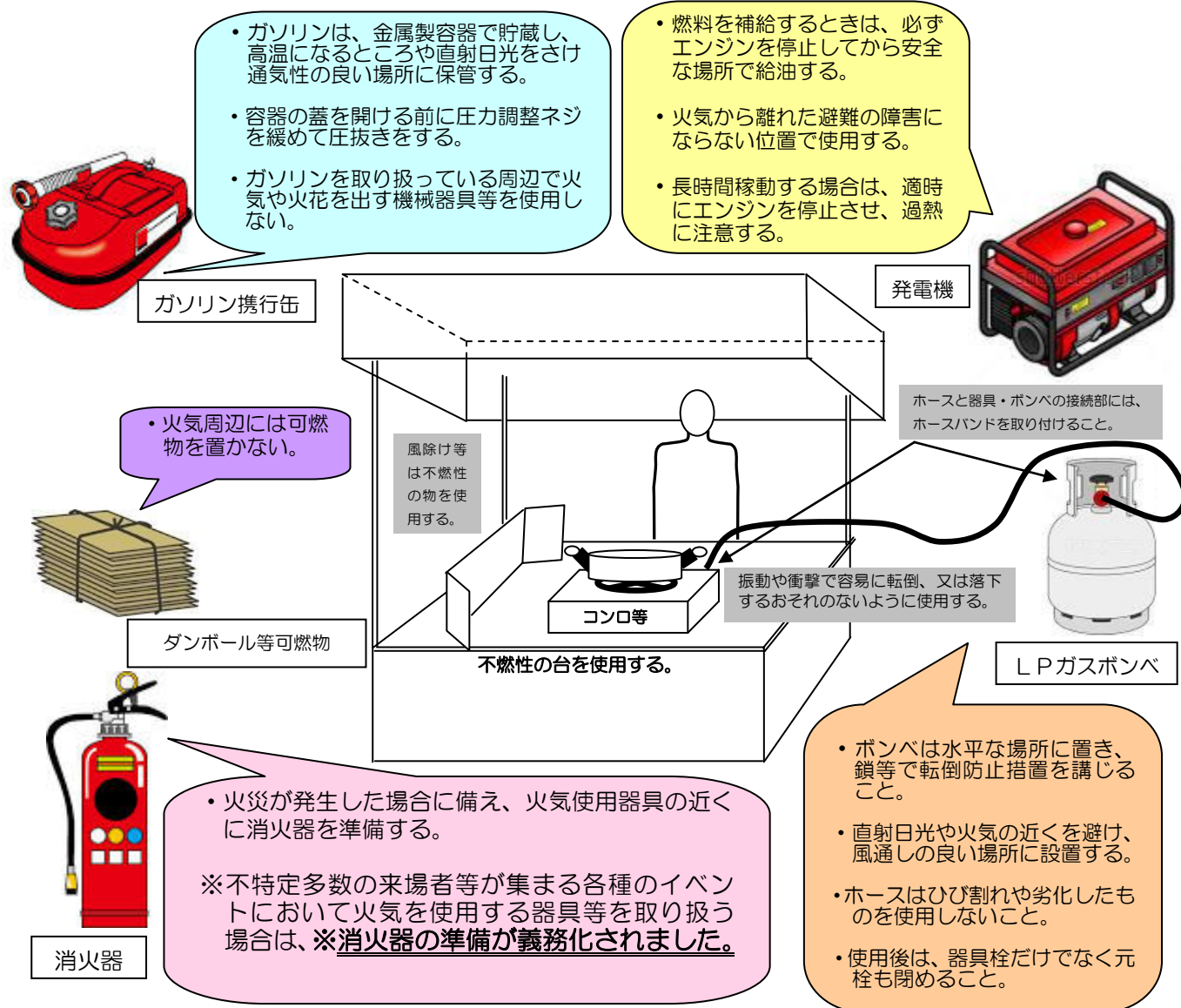
このイベントは、神崎川畔の28の企業で構成される神崎川畔企業連絡会が主催し、吹田市も後援しています。

当日は、少し肌寒い天気でしたが、榎木橋メイン会場では吹田市消防音楽隊も出演し、さくら満開の中、熱気溢れる演奏で、来場者の皆様から拍手をいただきました。

また、榎木橋から高浜橋までの約4km コースで行われたスタンプウォークには、参加団体が趣向をこらしたブースを設置し、市民と企業の交流の輪が広がりました。

●祭礼、縁日、花火大会、展示会などの不特定多数の来場者等が集まる各種のイベントにおいては、火災が発生すると大きな被害となるおそれがあります。そこで、このような場所で火気を使用する器具等を取り扱う場合は、**※吹田市火災予防条例で消火器の準備が義務化されました。**各種イベントの主催者、出店者及び関係者の皆様には、多くの方が安心してイベントに参加できますよう、下記のことにご注意して火災予防にご協力をお願いいたします。

火気等を使用する器具の取り扱いに係る火災予防上のポイント



ホテル・旅館等に対する

「表示制度」

消防法令のほか、重要な建築構造等に関する基準に適合している建物の情報を利用者に提供する「表示制度」が開始されています。
(平成26年4月1日から受付・審査)

◆表示制度とは◆

ホテル・旅館等の関係者からの申請に基づき、消防機関が審査した結果、消防法令のほか、重要な建築構造等に関する基準に適合していると認められた建物に対して、消防機関から表示マークを交付する制度です。

◆対象となる建物は◆

3階建て以上で収容人員が、30名以上のホテル・旅館等（複合用途の建物内にホテル・旅館等がある場合を含む。）が対象です。



表示制度の申請・交付の流れ

申請 → 審査

表示マークの交付（更新）を希望する場合、ホテル・旅館等の関係者は「表示マーク交付（更新）申請書」に以下の書類を添えて管轄の消防機関に申請してください。

1. 防火対象物（防災管理）点検結果報告書
2. 消防用設備等（特殊消防用設備等）点検結果報告書
3. 製造所等定期点検記録表
4. 特殊建築物等定期調査報告書

消防機関は、ホテル・旅館等の関係者からの申請書と添付書類に基づき、建物が表示基準に適合していることを審査します。（必要に応じて現地確認を行ないます。）

【表示基準】

- 消防法令の基準（防火管理の実施状況、消防用設備等の設置状況及び危険物施設等）
- 建築基準法令の基準（構造・防火区画・階段・避難施設等）に適合していること。



消防機関による審査の結果、表示基準に適合していると認める場合は、「表示マーク（銀）」（有効期間1年間）が交付されます。



3年間継続して表示基準に適合していると認める場合は、「表示マーク（金）」（有効期間3年間）が交付されます。



交付

事業所訪問

株式会社 寺田 美 研

寺田美研は吹田市に根ざして34年の実績があります。大手企業、工場様及び一般住宅や公共施設の塗装塗り替えからリフォーム、屋上防水施工など大阪近郊ならどこでも伺います。地元の特化したサービス（職人派遣など、お客様の「御用聞き」的サービス）も随時、承っております。

寺田美研は、吹田市で育ってきたからこそ、地元により良い住宅や公共施設の環境を整えていきたいと考えて始まった会社です。

建物の寿命に大きく関わる外壁塗装や防水施工を得意とし、建築物を知り尽くしている我々、寺田美研にお任せください。責任施工、当社の所属の職人が責任をもって施工します。



建物のデザインや外壁塗装は流行でめまぐるしく変遷しますが、塗料や施工技術は進化し、暮らしを豊かにするためのお手伝いをいたします。

これからも広い視野を持ったセレクトで、時代を切り拓いていきます。「暮らしをもっと快適に」という、お客さまの気持ちはいつの日も変わりません。そんな気持ちに答えるために日々努力を続けております。

株式会社 寺田美研 《塗装、防水、看板、リフォーム》

〒564-0026 大阪府吹田市高浜町4-7

TEL : 06-6381-2401 FAX : 06-6319-3843

◆大阪府消防表彰式◆



橋本 治 会長

平成26年3月23日(日)大阪府立労働センター(エル・おおさか)において、平成25年度大阪府消防表彰式が開催され、吹田市建設業防火協会の橋本 治会長が建築防火の精神をもって、13年余りの永きにわたり強い責任感と実行力で役員として活動し、地域の火災予防の普及に多大な貢献をした功績により、一般消防功労表彰を受賞されました。

◆消防団員感謝状◆

平成26年3月16日(日)、吹田市消防団吹二分団、宮本 一三^{いちぞう}副分団長が職務中発見した摂津市南別府町で発生した建物火災において、迅速、的確に初期消火を実施した功績により、平成26年3月26日(水)、摂津市消防本部から表彰されました。



表彰状を受ける宮本副分団長(左)

◆第22回危険業務従事者叙勲・平成26年春の叙勲◆

平成26年5月8日(木)、大阪府知事公館において、元吹田市消防職員の兵頭三郎氏が著しく危険性の高い業務に精励した功績により、大阪府知事から危険業務従事者叙勲を伝達されました。また、元千里丘分団副分団長の野中博氏は、長年勤務に精励した功績により大阪府知事から瑞宝単光章を伝達されました。

両氏は、同年5月19日(月)吹田市役所を訪れ井上市長に報告をされました。



野中氏(左)井上市長(中)兵頭氏(右)



市長応接室での様子

住宅用火災警報器の電池が切れていたり、本体の寿命が来ていませんか？

住宅用火災警報器は、電池が切れそうになった時や異常の時は、音や光で知らせてくれる機能を有しています。

住宅用火災警報器から、音声や光などの警報が鳴った場合は、まず「火災でないことを確認」し、付属の取扱説明書等で電池切れあるいは故障かどうかを確認してください。

電池寿命はメーカー、機種によって異なります。詳しくは取扱説明書を確認してください。なお、最新機種の多くは、電池寿命は10年(通常の使用状態)です。

住宅用火災警報器本体も、センサー等の寿命により交換が必要になる場合があります。10年を目安にしてください。詳しくは取扱説明書を確認してください。

いざという時のために…
定期的に住宅用火災警報器の作動
確認をし、警報音を聞きましょう。



【お問い合わせ】

南消防署 (吹田市内本町 1-23-14)	TEL : 6317-0119)
北消防署 (吹田市藤白台 1-1-50)	TEL : 6872-0766)
西消防署 (吹田市江坂町 1-21-6)	TEL : 6384-0151)
東消防署 (吹田市尺谷 5-15)	TEL : 6876-9119)
予防課 (吹田市江坂町 1-21-6)	TEL : 6193-1116)

◆吹田市建設業防火協会 創立50周年記念式典◆

平成26年6月2日（月）吹田市文化会館（メイシアター）レセプションホールにおいて、本年が吹田市建設業防火協会創立50周年にあたることから、これを祝して記念式典が行われました。第一部は、厳かな雰囲気の中、吹田市消防音楽隊によるオープニング演奏で始まり、協会から消防本部への寄贈品目録の贈呈、井上市長から協会へ防火思想の普及啓発の多大なる功績に対して感謝状の贈呈等が実施されました。ご参会の役員・会員の皆様は、創立50周年を機に初心に戻り、防火・防災に役立つ活動を通して、さらなる地域の発展に貢献していくことを誓われました。



消防音楽隊によるオープニング演奏



橋本会長（左）と井上市長（右）

感謝状の贈呈

第二部は、建設業防火協会の役員・会員をはじめ、84名の出席者によって祝賀会を開催しました。和やかな雰囲気の中、火災予防街頭広報の様子などを撮ったスライドショーを上映し、歴史ある50年を振り返りました。



寄贈品の消防車型バッテリーカーと自転車



祝賀会を万歳三唱で締めました

◆合同消防想定訓練◆



北消防署 ST（スモールタンク）車

平成26年3月5日（水）吹田市北消防署と阪急バス千里営業所は、幹線道路でのバスと貨物自動車の衝突事故を想定した合同訓練を実施しました。春の全国火災予防運動に合わせた取り組みとして、消防・救急隊員と阪急バスの運転手等34名が参加して、事故発生時の初動態勢の確認が行われました。

現在北消防署に配備されているST（スモールタンク）車は、CAFS（圧縮空気泡消火システム）が搭載された最新の消防車です。

【CAFS：キャフス（圧縮空気泡消火システム）】

CAFSとは、水と泡消火剤の混合物を発泡させて、燃焼物を覆うことで、冷却と窒息効果により消火を行うシステムで、水放水に比べ消火効率が良く、ホースには圧縮空気が入っているため、重量が軽くなり隊員の負担が軽減されます。



CAFSによる消火作業の様子